



## 防災訓練

五月二十六日の日本海中部地震、津波で六人の貴重な人命とばく大な財産を失いました。災害は、忘れたころにやってくるといわれています。災害を未然に防ぎ被害を最少限に食い止めるためには、日ごろから災害に対する心掛けが大切です。

## 地震だ

## 十三小が火事

市浦村消防団（秋田谷納団）では八月十四日、放水演習や分列行進をしたあと、地震による火災発生を想定して、火災防備及び人命救助訓練を行い、本番さながらの緊張感があみぎっていました。  
（関連記事七面に）



### 今月の主な記事

- 第36回北部社会福祉大会 ……2頁
- 増え続ける少年非行 ……3頁
- 第36回全国定通制軟式野球 4～5頁
- ボール送りなど楽しく ……6頁
- 消防防災訓練 ……7頁
- 屋内水泳プール完成 ……8頁
- 歴史漫歩 ……9頁
- 文芸・戸籍の窓 ……10頁



地震の教訓を生かそうと本番さながらの訓練を行いました

昭和58年

# 8

月号

第36回北津軽郡社会福祉大会

# 心豊かな地域社会の実現を

行動しよう

あなたもわたしも  
みんなのために

「行動しよう、あなたもわたしもみんなのために」健やかな子供はぐくもう、愛の一

声」をスロウガンに分けた第36回北津軽郡社会福祉大会が、八月八日関係約三

百五十人が集まり、市浦村コミュニティセンターで開かれました。

午後からは式典に移り、物故した社会福祉関係者に黙とうをさげたと、花田一北郡社会福祉協議会長が「今年に老人福祉法制定二十周年に当たる。特に在宅福祉の問題が重要となってきたっており、さらに福祉の向上に努め、心豊かな地域社会の実現をはかりたい」とあいさつ、三重実市浦村長が歓迎の言葉を述べたあと次の人たちが表彰されました。

生活環境、住民意識などの変化に伴って、福祉に対する要求も多くなり、特に在宅福祉の問題が重要となってきました。この大会は、郡下の社会福祉関係者が一堂に会し、心豊かな地域社会の実現をは

かろう、と毎年各町村もろまわりで開催しているものです。大会ではまず、意見発表が行われ、木村玲子さん(板柳町のいろいろ)が「生きがいのいろいろ」沢田博文君(金木高校相内分校三年)が「行

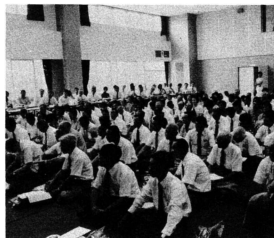
動しようあなたもわたしもみんなのために」を発表しました。

また、青少年育成青森県民会 副会長長岩岡三夫講師が「地域福祉とボランティア活動」と題して講演しました。

■市浦村関係表彰者  
葛西チヨエ、石沢みち江、三和孝徳、奈良しづ江、鳴海藤雄、葛西善六



1人1人の力を寄せあい、明るい地域社会をつくらう...と北郡町村から多数の関係者がつめかけました



「生きがいのいろいろ」...意見発表に耳をかたむける真剣なお年寄りの顔がみられました

生きがいがくりは  
みんなの手で



お年寄り、これまで永年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今日までつちかてきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。こうしたことが、お年寄りの生きがいになると同時に、世代の越えた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないのでしょうか。お年寄りに生きがいのある社会を共に築いていきたいものです。家庭では、お年寄りの役割分担をみんな考えてみましょう。お年寄りは自分の役割を通して、家族との接点を持ち、生きがいを見出し、生きていくのです。

# 増え続ける 少年非行

意見

発表



金木高等学校  
相内分校三年

## ボランティア活動を 推進しよう

沢田 清文

北郡社会福祉大会に当たり、北郡のことを提言いたします。市浦中は環境美化を宣言していますが、私たちの学校でも、その一つとして十三海岸のゴミ拾いを毎年実施しています。しかし、一向にゴミは少なくならずむしろ多くなっているような気がします。そのゴミの多くは、ナイロ

ンやあきカンなどがほとんどです。海に遊びに来た人達によつて捨てられたものや、川に捨てられて海岸に流れついているばかりです。ゴミだらけの汚れた海岸を見て、きれいだと思える人はいないはずで、では、どうしてゴミを捨てるのでしょうか。自分たちのまわりのゴミは自分の責任で処理し、それだけのゴミを持ち帰る運動を

展開すべきであります。次にボランティア活動について述べてみたいと思います。私は、ボランティア活動はしたこともなく、その活動内容がどういふものかわかりません。ただ、いろいろとめぐるまなびたいという気持はあるのですが、具体的に何をと聞かれても返答に困る段階です。

私の家には、七十歳になる祖母がいます。私は小学校の時から祖母にしてあげてきたことがありません。年とともに体がやせてくる祖母ですが、目にも毛が突きさきり、時々目をパチパチさせ痛そうなる顔を私が見ているので、そのまつ毛を私が抜いてあげるので、何日かに一度そのことをくり返しているのですが、そのたびに祖母の顔は明るくなり、とても良くなるので喜んでくれるのです。そういう祖母の顔を見ていと私もうれしくなるのです。

小さいころからボランティア活動をする習慣をつけるならば、きっと心のやさしい人間形成がはかれ、家庭内暴力や校内暴力に走らないのではないのでしょうか。また、ボランティア活動をすすめることによって老人福祉の向上につながるものと思います。いろいろと話し合い手になってあげたり、お年寄りたちを助けることができると、私たちが大先輩として多くのことを学びとることができるとも思います。

最近になって、ボランティア活動をしているグループが誕生したことも聞いていますが、私も積極的にボランティア活動に参加したいと考えています。「行動しよう、あなたもわたしも、みんなのために。」

## 非行のきざしと親の関係

「カゼは万病のもと」といわれます。いろいろな病気の「引き金」になるわけですが、そのカゼにも本格的になる前に潜伏期間があります。クシヤミをたたり、体が何となく熱っぽかったり、だるかったり……こうした潜伏期間のうちに的確な処置をしておけば大事にいたらないですみます。非行という「心の病」にも

潜伏期間があります。早目に手当てをするためには、ふだんの「健康状態」に注意して、変調を一日も早く察知することがまず第一です。非行化への「潜伏期間」に見られる典型的な症状の一つに「ウソ」があります。ウソをついてはいけません。知りつつも、時にはウソをついてしまうのが人間です。そ

こで、何のためについているのか、ウソの背景を見分けることが大切になります。ついでにわななウソ、聞いてる方がウソだと心得ていれば害のないウソ、かくしごとや悪いことをして非行化につながるウソ……いろいろなパターンを判別することが大切です。非行の年齢は、反抗期とも密接に関連します。自分がウソをつきました」というより「さつき自分じゃない」とい

ったのはウソでした」という方がいにくく、勇気のあるウソです。その「追及」が、逃げ場のない厳しい追及や非難ではせつなく見つけた非行化のきざしを、つみとどこか逆にならなくしてしまおうにもなりかねません。ウソがウソを生んでいくのです。ふだんから子供の「健康状態」を知り、子供をよく理解することが非行防止のポイントです。

## 郡老連 スポーツ大会に思う

相内 古川長光



八月十日市浦中グラウンドで開催した、北郡老人クラブ連合会のスポーツ大会では、参加選手を代表して選手宣誓をしました。

北郡の六カ町村からは、多数の選手と応援者が集まり、炎天にもかかわらず大いにハツスル。

スポーツ大会の一つの目的である「親善」を深めたい、楽しい一日を過ごした。

来年は小泊村で開催することが約束されており、今年参加した人たちはもちろん、各町村から一人でも多くのお年寄りが参加することを念じている。

# ベスト8入り



夢にまでみた神宮球場で堂々と入場行進をした相高ナイン

## 十五年ぶりの 快挙 きみたちはよくやった

八月十二日から東京・神宮球場などで開催していた第三十回全国高校定時制・通信制軟式野球大会に、青森県代表として出場していた金木高相内分校野球部が、見事ベスト8入りを果たして、十七日朝元気に帰りました。

十五年ぶりに同大会に出場した相内分校野球部は、八月十二日、駒沢オリンピック公園 園野球場での一回戦で宮崎県

の延岡第二を延長八回の末、13-12で破り初戦を突破した。波に乗る同校は、二回戦でも山梨県の都留西原分校を7-0と五回コールドで下して三回戦進出を決めた。ここでも宮城県の仙台一を14-0の大差で破って見事ベスト8入り。その間、村民には試合の結果を無線放送で知らせていましたが、たまりかねた同校OBが工藤誠一郎村助役を団長に応援団を結成し、準々決勝の応援にむけて、十四日夜出発しました。

「東京相内会」でも会員に呼びかけ応援団を編成し、連日熱狂的な応援をくりかえしていましたが、準々決勝では、奈良県の天理に延長八回の末、0-1で惜敗しました。十七日午前七時十五分、特急「はくつる」で青森に着いた選手たちは、佐々木瑞信監督、笹森昭好長らと出迎えるバスに乗り込み一路市浦へ

村に着いたナインは、同校の須藤安一教頭といっしょにさっそく後場を訪れ戦績報告をしました。そこで須藤安一教頭は、「村民の期待にそう優勝旗は持って来なかったが、本校野球部員のたかいはこれからです。全国大会でつちかった精神、野球を通して得られたことが、これからの人生にきつと生かされるものと思う。将来を担う村民の一人として大きく貢献するものと期待すると同時に、応援にかけつけてくださった「東京相内会」のみなさんや村民各位に心か



炎天の中応援に駆けつけた東京相内会のみなさん

ら感謝している」と述べました。これに対し、三重実市浦村長が「諸君の一戦一戦は、本村だけでなく県民も大きな期待を寄せていたものである。残念ながら優勝は逸したものの、白球」にこめた諸君のハツラツとしたブレイヤ力は、優勝にあたえたるものであると同時に、これから人生にとつても大きなプラスになると思う。自分とたたかいたか、という意味においても、得られたものは大きいと思うし、将来を担う諸君に大きな期待を寄せている。全国大会で見事ベスト8をはたした諸君に大きな拍手をおくりたい」と述べ、ナイン一人一人に握手を求めほめたたえました。

# 第30回 全国高校定通制軟式野球

## 金木高 野球部 相内分校



きみたちはよくやったノ、部長がガツガツ握手してほめたえええ



欽ちゃん一家も応援にかけつけて...



東京相内会の応援に余裕もチャリとVサイン



ベスト8入りを果たした相内分校野球部の面々

# ボール送りなど楽しく お年寄りハッスル

北郡老人クラブ連合会  
(大橋忠雄会長、主催の  
第五回北郡老連スポーツ  
大会が、八月十日市浦中  
学校グラウンドで行われ  
ました。  
家にこもりがちなお年  
寄りが、スポーツを通じ  
て健康を保ち、生きがい  
を高めるとともに親善を  
深めあおうと五年前か  
ら開催しているものです。



カラスはどどど、文字合わせ競争



老人パワーのバドミントン



射的もたいへんな競技、年かブアー

お年寄りにとっては、年一回のスポーツの祭典とあって、北郡六カ町村から代表選手を含めて約五百人が参加しました。

開会式では、大橋会長が「スポーツを通して健康保持に」と、お互いの親善を深めよう」とあいさつしたあと、三重喜村長が歓迎のあいさつをしました。

続いて、選手を代表して古川長光さん(市浦村相内第一若返り老人クラブ)が「スポーツを通して健康を保ち、生きがい



開会式で整列する市浦村のスポーツマン

ツマンシップのつとめ、最後まで一生けんめいがんばります」と力強く宣誓しました。競技は、町村対抗で種目も「ボール送り」玉入れ競争」「ふうせん割り」射的「文字合せ」など、お年寄りにも無理なくできるものばかり。明治、大正生まれの心意気をみせるハッスルぶりに、グラウンドにかけた息遣いや孫たちの大きな声援をうけていました。

## レスキュー隊 (ほふく救出競技) 東北大会で入賞



県消防学校で開かれた消防救助技術県大会

去る七月五日青森県消防学校で、消防救助技術青森県大会が開かれ、県内各消防本部から選び抜かれた二百名のレスキュー隊員と関係者らが集まり盛大に行われました。津軽北部消防事務組合(竹谷善朗消防長)のレスキュー隊(下山勝彦隊長)でも、六月上旬から猛訓練を続けて出場しました。中里消防署司令補三上則昭、副司令長利勝夫、市浦分署副士長三和剛雄の三名一組が、ほふく救出競技で見事上位に入賞をはしました。大会終了後行われた選考会では、青森県代表として選ばれ、七月二十八日宮城

県消防学校で行われた東北大会へ出場しました。東北大会でも、日頃の訓練ぶりを発揮し、関係者から高く評価されました。

### ほふく救出競技とは

三名(被救助者を含む)一組で、空が十五分の位置から出発し、空気呼吸器を着装して誘導用ロープを首首に結束した後、八分間の煙道に進入して被救助者を屋外に救出し、二名が協力して被救助者を安全地帯に搬送するまでの安全性、確実性とあわせて所要時間を評価する。

## 消防防災訓練

# 消火・人命救助に汗

## 日本海中部地震

## 教訓を生かそう

午前八時三十分から十三漁港で放水演習をしたあと、三重市浦村長が観閲する中、約一〇〇人の団員が十三地区を整然と分列行進をしました。分列行進には、消防自動車八台、消防署市浦分署の消防タンク車、救急車なども加わり行進を盛りあげました。

このあと、十三小学校グラウンドに会場を移し、関係人員姿勢服装点検、機械器具点検など、三重市村長らの観閲をうけました。

続いて、消防署、消防団合

同の防災訓練では……。

八月十四日午前十時頃、青森県日本海側沿岸部にかなり強い地震が発生、マグニチュード7.7で市浦村では震度5の強震を想定した。十三小学校では、給食室で調理中の天ぷら鍋に延火し火災が発生した。通報をうけた消防署では、出動と同時に関係機関への連絡、防災無線で団員の出動を要請した。現場に到着した時は、校舎内に煙が充満し火点が確認された。放水開始後、内壁落下



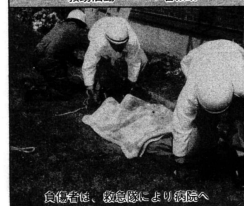
号令も勇ましく、整然と行進する消防団



省電性ガス安全、空気呼吸器を管理



救助活動……1名救助



負傷者は、救急隊により搬送へ

により負傷者が三名建物内にいることが確認されたので救急隊員の機敏な動作一つ一つに緊張度が増してくる。三名とも無事救助されたが、その間消防署、消防団の中継送水により水量を確保、火点を包囲して消火。十時四十分鎮火した。また防災訓練では、揚署(引き揚げ)途中、道路のガードレールに衝突した車輛の救出作業と、車輛火災消火活動も行い、物々しくサイレンを鳴らして走りまわる消防自動車や救急車、津軽北部消防特別救助隊員らの救助訓練は、本番さながらの緊張感がみなぎっていました。

訓練後、十三公民館で日本海中部地震津波による人命救

助者並びに優良団員の表彰授与、観閲者の講評、指揮者の訓辞、米賞祝辞などがあり、十二時過ぎに防災訓練を終えました。

人命救助者表彰は次のとおりです。

佐藤二郎(第一分団々員)

秋田谷完一、相坂利雄、松橋茂雄、小山内利、梶浦時三郎、秋田谷光子、長利勝雄以上一般協力者

優良団員表彰者

佐藤二郎、秋田谷男、秋田谷浩(以上第一分団々員)山田博伸、葛西哲、村元光治第二分団々員、成田勝夫、今野忠教、相坂義雄(以上第三分団々員)植野謙一(第四分団々員)

訓練後、十三公民館で日本海中部地震津波による人命救



観閲人員姿勢服装点検、観閲する三重市浦村長(右)

## B & G市浦海洋センター

# 屋内水泳プール完成

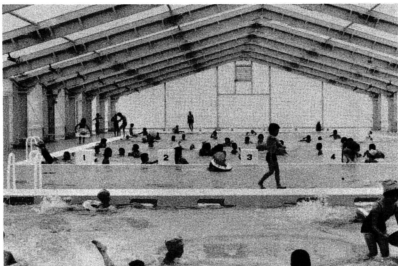
## 小、中学生や一般に開放

B & G財団市浦海洋センター(体育館)隣接地に建設中の屋内水泳プールがこのほど完成し、八月四日午前十時か

ら同プールに関係者ら約三千名が出席して修祓式を行いました。修祓式では、洗磯崎神社松

橋徳夫司による祭事のと、村長代理として出席した工藤誠一郎助役が、工事施行中には、日本海中部地震が急襲するなど工事関係者には大変な苦勞があったと思う。村内各

小学校に設置されている四つ



写真上・屋内プール完成にはしゃぐ子どもたち  
下・立派に完成した水泳プール

のプールが、地震のために使用できないこの時に屋内プールが完成したことは、子供たちに大きな喜びを与えることができた。この屋内プールが、青少年の健全育成の一助に

なることを期待すると同時に、体育館と合わせて高効率な利用をはからなければならぬ。とあいさつ。

このあと、青山又一村議員が乾杯の音頭をとり、屋内プールの完成を祝いました。

## プール利用は 十月末日まで

屋内水泳プールは、B & G財団(笹川良一会長)が総工費九千三百五十万円、五十七年十一月十日に着工し、十八年七月二十日竣工したものです。

構造・規模は、更衣棟が鉄骨造一階建て、建築面積百六十二・五平方尺、延床面積は百二十五・二五平方尺。プールはアルミ製で、幼児

## 県民体育大会 軟式野球(村部)が初優勝



堂々と入場行進する市浦村選手団

第三十八回市町村対抗県民体育大会は、二十、二十一の高日、青森市の県営総合運動

場に県下六十七市町村から約六千人のスポーツマンが参加して開催されました。

午前十時から始まった開会式では、ファンアムレを合図に、前年優勝の弘前市、北郡鶴田町、南郡田舎館村を先頭に、県南から順にそれぞれ市町村旗を高々と掲げて入場。本村から出場した八十一名の役員選手団も足並みをそろえて、堂々と入場行進をしました。

本村からは、剣道、バレーボール(男子)、軟式庭球、バドミントン、卓球、軟式野球、陸上競技等が出場し、軟式野球が村の部で初優勝、バドミントンが三位に入賞しました。そのほかの競技でも、日頃の練習ぶりを発揮しましたが、いま一步のところで惜敗しました。

用と一般大入用に分けられている。幼児用プールは、長さ十尺、幅六尺で、水深〇・五尺から〇・六尺。

一般大入用は、二十五尺の六コースで、水深一・一尺から一・二尺となっている。

管理運営は、教育委員会で担当しているが、修祓式後きつそく小・中学生や一般村民に開放し、連日ぎわいみあせています。教育委員会では、十月末日まで村民に利用させることにしています。





▶ 56 ◀

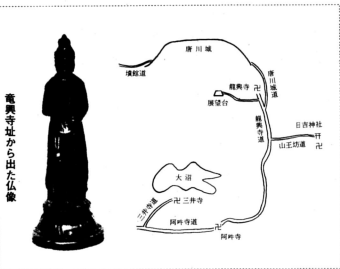
# 法燈への道

## 興と高味院

(2)

### 阿吽寺の一説

阿吽寺の位置についてはもう一説あります。すなわち、現在の山王坊にとつて



龍興寺址から出た仏像

いることです。山王坊については後述しますが、法燈への道はますます険しく深遠であることを更めて認識させられます。

この説をれば外二部誌の説と矛盾しますので一時保留しておきますが、考古学的な発掘によって明瞭となることですから一考を要することは勿論です。

### 三井寺址を仮定する

外三郡誌に三井寺が出てきます。図面では琵琶沼(現在の大沼を指したものであろう)の北方に示されています。阿吽寺とともに胎藏界曼荼羅に属する寺院です。十三往来や本藩蓋陽美記には見えないお寺です。

阿吽寺址の道がほとんど直角に左折し降り坂となりますと、左手(西側)に大沼が見えますが、ここは二

ツ沼と共にたぐさんの竪穴があった場所でもあります。この北側方面はいくら探

しても寺院の礎石らしいものが見当たりにせんので落胆の限りでしたが、南側には礎石と思われるものが二個発見されました。後日の調査に待たねばなりません。ここにあるいは三井寺の跡かもわかりません。私は一応大沼の南側を三井寺址と仮定しておきたいと思

### 龍興寺趾への道

法燈への道を更に北へ辿り、右に折れると山王坊への道となり、日吉神社へ抜けます。山王坊に至る間道ともいえるべきでしょうか。いや、昔は三王坊にお参りしてこちらへ通つてきたものかも知れません。

まっすうの龍興寺趾への道は、途中右に唐川城本丸への道とまた分れますが、その中腹に建立されているのが阿吽寺ともい有名な龍興寺です。現在は飛龍神社となつていますが、春日

場の十七番の札所となつて

### 古書に出る龍興寺

十三往来に「亦龍興の礎石を見れば、後には青山岬々々として峰の清風指を鳴らし、前には滝水溢り落ち、坐禅の眠りを驚かす」と表現されています。また、十三藩新城記に「龍興の精舎は、滝水登に入りてこれが噴を誦し」と記載されています。

「龍興寺の様子をみると、後には青山が岬々として高くけわしく、峰の清い風が梢を吹き鳴らし、前には滝の水がみなぎり落ちて坐禅の僧侶の眠りを驚かし、願望の成就を神仏に祈るやうに音を響かせている」という意味です。現在は水量も不足になつていますが、龍興寺の滝音は、古代から殷賑を極めた市浦村の歴史を今に伝える音であり、未来永劫に続く栄光への響でもあります。

### と の 部

#### 津軽のことわざ

⑨

戸振サ豆、おしゃべりの人  
 戸閉けの戸、閉で、最初に来て戸をあけて入り、最後までいて戸を閉めて帰る人、始めから終りまでの長尻の人。  
 遠くて近い男女の仲、男女の仲が意外に結ばれやすいのをいう。  
 動転、吃驚、しゃっくり止まった、しゃっくりはびっくりすると止むという意。  
 豆腐の角サ臍ぶつてで死ぬ、おくびよう若をのしることば。  
 戸口三寸、男は戸口三寸出れば敵がある。  
 遠くの戦より近くの他人、去る者は日々よりとくなる。遠くに住む親類より近隣の情は大切だとの意。  
 毒にも薬にもならぬ、害も与えないが、利益も受けられない、どうでもよい存在。  
 尻ア獲いば鱈がある、尻がかゆくなれば鱈がとれるとい、俗言ともなっている。  
 年ア仇、年をとると、老害することをも憎むことば。  
 年寄りど金釘ア引んだ方が、いい年寄りを出しやばらぬ方が、いい年寄りという意。

学校や家庭での「しつけ」が十分でないことが、児童や生徒の非行が増えている背景の一つとして挙げられている。つまり、今の児童・生徒には、社会人として望ましい「基本的な生活習慣」が身に

ついていないことが多く、これが非行に結び付いている。その責任の一端は家庭や学校にある——とする考え方が、

このような考え方に對していろいろ論議はあると思いますが、謙虛に耳を傾け反省すべき点があれば改善したいものです。

では、基本的な生活習慣とはいったい何でしょうか。一



## 神楽舞

洗磯崎神社鎮座三百年祭に寄せて七句

俳句

福元 石岡貞一

飾かった昔なつかし神楽かな  
今日見るも昔ながらの猿田舞  
弓の舞透れとばかり神楽締め

言えいえは社会生活に適應していくための基本となる。その考え方が、また、道徳に基づいた行動の仕方だといえるでしょう。

この基本的な生活習慣を、

## 青少年の豊かな心を育てよう

子供の成長に応じて身につけさせることが「しつけ」です。

### しつけのための心がけ

子供に、基本的な生活習慣

を身につけさせるため、次のことを心がけましょう。

▽「規律アレルギ」をなくす  
若いご両親や先生は、しつけや規律という言葉に抵抗を感じる人が多いようです。

子供を身につけるとき、この抵抗感が妨げとなりま

す。しつけの第一歩は「規律アレルギ」を取り除くことです。

▽放任や甘やかしはしない  
昔に比べると、子供を放任

したり甘やかす家庭が増えています。家の中で「らみ」を利かせていた親が、

やましい親、無関心な親に変わってしまったことも原因の一つです。子供をしかるときには、きちんとしかなるようにはしましょう。

▽教育に対する両親の考え方を一致させる  
子供が同じことをしたのに、

父親と母親で注意の仕方や接する態度が違うと、子供は何を模範にしているのか迷います。子供のしつけは、父親と母親がよく話し合い、協力して行うことが大切です。

## 短歌

石岡貞一

洗磯の沖でためした建網ぞ  
鯨大魚の旗たなびきて  
生きて来て三百年祭しみじみと  
またとなきの日夏過したり

鳴りわたる神への祈り三十三  
神輿がつかいだ若者の声

## 戸籍の窓



お誕生

秋田谷 淳(相内) 清光  
澤田 有妃(相内) 美知照  
成田 集(磯松) 勝則  
佐藤 大輔(相内) 省吾  
三和 千洋(相内) 金春  
藤田 恒也(磯松) 隆男  
澁谷 美佳(十三) 昇  
秋田谷正人(桂川) 藏雄

### おくやみ

秋田谷トメ(桂川) 55歳  
梶浦 かつ(十三) 85歳  
中島 豊治(十三) 72歳

三川 武(十三)  
工藤 鈴江(三歳)  
村元 尚悦(磯松)  
長谷川秀子(小治)  
橋野 寿造(鹿兒島)  
佐藤 君子(臨元)  
武田 秀機(太田)  
関本 育子(福島)



ご結婚

## にんじは赤ちゃん

湊 福次郎さん長女(相内)  
なぎさちゃん(7カ月)  
速くへ働きに出ているお父さんは  
いつもなぎさのこと思い出してがんばっているんだって!!  
なぎさ、とてもウレシイ……。

